

顕彰の辞

子悦町名譽町氏 正五位勲三等旭日中綬章太田寛一氏
貴院町農協名譽組合長、正大正四年に十勝国川西村で誕生、首席で尋常高等
小学校を卒業し、帯広産組を経て子悦産農組合に奉職
自から開拓農民として開墾の艱難をも体験、同志と
連盟の誓をたて理想農村づくりに専念されました。

昭和二十八年若冠三十九歳で組合長となられ、終
生一貫して農家経済の確立と農協事業の有機的結合
こそ農協組織本来の使命であることを説き、畑作、
酪農を中心に生産、加工、清涼機能の密着化に献身、
農村工業を興し高付加価値農業を実現し、文字通り

士悅町農業協同組合の『中興の英主』でありました。
この道常に果分野のトップリーダーを努め『使命
』を使命に死す』を信條として此の炎を燃やし続
けられました。昭和五十七年五月、二十九年間に亘
る産協組合長を勇退、總べでの公職を辞され地の塩
として生きざる情懷を後進の撫育にかけておられ、昭

和二十九年十一月、晩の正星おつるが如く六十九歳
の老海を闊するまで『農村ユートピア建設』に身命
を賭して情熱を傾注されました。

此の貴職をなさし地先性をもち清廉潔白、実直徳義、
誠實英邁な人格、海思広視野、時代即応施策の剛直
執行の信念、人間愛に溢れる稀有の正義漢であり

この偉大な足跡は華舌に及ぼしません。
ここに全組合員、役員、職員及び関係者有志の誠
意によりその功績、偉業を讃嘆し、崇高無比なその
精神を永く後世に伝えたいとの思いをこめ茲に氏の
顕彰を建立します。

大田寛一氏顕彰委員会会長 安村 志朗
子悦町農協同組合組合長 安村 志朗
昭和六十年十一月十三日建立

顕彰の辞

士幌町名誉町民
士幌町農協名誉組合長

正五位勲三等旭日中綬章太田寛一氏

は大正四年に十勝国川西村で誕生、首席で尋常高等小学校を卒業し帯広産組を経て士幌産業組合に奉職自から開拓農民として開墾の困難をも体験、同志と連盟の誓をたて理想農村づくりに専念されました。

昭和二十八年若冠三十九歳で組合長になられ、終始一貫して農家経済の確立と農協事業の有機的結合こそ農協組織本来の使命であることを説き、畑作、酪農を中心に生産、加工、消流機能の密着化に献身、農村工業を興し高付加価値農業を実現し、文字通り士幌町農業協同組合の『中興の英主』でありました。

この間常に各分野のトップリーダーを務め『使命に生き使命に死す』を信条として北の炎を燃やし続けられました。昭和五十七年五月、二十九年間に亘る農協組合長を勇退、総べての公職を辞され地の塩として生きる情愛を後進の撫育にかけておられ、昭和五十九年十一月、北の巨星おつるが如く六十九歳の生涯を閉づるまで「農村ユートピア建設」に身命を賭して情熱を傾注されました。

氏は比類なき先見性をもち清廉潔白、実直律儀、誠実英邁な人格、深思広視野、時代即応施策の剛直新行の信念、人間愛に溢れる稀有の正義漢であり、この偉大な足跡は筆舌に尽せません。

ここに全組合員、役員、職員及び関係者有志の総意によりその功績、偉業を敬慕し、崇高無比なその精神を永く後世に伝えたいとの思いをこめ茲に氏の銅像を建立します。

太田寛一氏銅像建立期成会会長

士幌町農業協同組合組合長理事

安村志朗

昭和六十年十一月十三日建立